

事業所名		多機能型事業所 おにぎり				支援プログラム（児童発達支援）				作成日		2024 年		12 月		5 日							
法人（事業所）理念		子供の意思・人格を尊重し、将来的に社会との交わりを持てるように、生活能力の向上を支援します。																					
支援方針		お友達との関わりを多く取り、孤立しないように療育をして参ります。 また、音楽療法（リトミック）や英会話なども取り入れ、学習面での支援も行なって参ります。																					
営業時間		月～金 土		9 9		時		00 00		分から		18 15		時		00 00		分まで		送迎実施の有無		あり なし	
		支 援 内 容																					
本人支援	健康・生活	・来所時、毎回体温測定や口頭での質問により、健康状態を確認する。 ・睡眠、食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身に付けれるよう支援する。 ・身の回りを清潔にし、食事、衣類着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能ができるよう支援。																					
	運動・感覚	・遊びや活動を通して様々な感覚に刺激を与え、感覚を養う。 ・保有する感覚を十分に活用できる支援する。 ・動作の基本となる姿勢保持や上肢下肢の運動・動作の改善及び習得を行なう。 ・サーキットトレーニングなどの運動療育により、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。																					
	認知・行動	・絵本や製作を通して季節などを感じるよう支援する。 ・製作活動により色・形・重さ・柔らかさ・数などの感覚を養う。 ・児童に対して、日付を質問し、数の概念の習得を図る。 ・音楽療法を通して、聴覚を活用する発達を促す。																					
	言語 コミュニケーション	・遊びや様々な活動を通して多くの言葉に触れるよう支援する。 ・自分の思いが伝わる、経験ができるような支援を行なう。 ・指差し、身振り、サイン等の活用する。 ・5分以上はマンツーマンで支援を行ない、指導員からの声掛けに対し自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行なう。																					
	人間関係・社会性	・スタッフやお友達と一緒に遊ぶ遊びや活動を通して他者との関わりの経験をつむ。 ・休み時間など、指導員が介入しながら、集団参加を支援する。 ・製作活動を通じて「やり遂げた」という達成感を感じるよう支援を行なう。 ・手遊びを通じて、対人関係の発達を支援する。																					
家族支援		・事業所活動の様子について、送迎の際に情報を共有する。 ・目標に対し、家庭及び事業所での取り組みを達成できるように、留意点を共有する。								移行支援		・必要に応じて保育園等を訪問し、普段と異なる活動の際の、児童との関わりについて具体的な関わり方を共有する。 ・保育園の連絡と当事業所の連絡内容を相互に確認し、日々の様子を 交換する。											
地域支援・地域連携		・各関係各所との連絡事項の共有。 ・ケース会議等の連携。 ・他福祉事業所等との連携。								職員の質の向上		・日々の振返りを大切にし、内部研修や勉強会を実施。 ・支援の中で気付きや変化は職員間で共有し、積極的に検討会を実施。 ・各種法定研修や対策予防の実施。											
主な行事等		・季節や社会イベントなどに合わせ、文化に触れられるような行事を年数回程度実施する。（節分・ひな祭り・子供の日・海の日・クリスマス・誕生日など） ・長期休み期間に外出レクを実施する。（商業施設見学・買い物・BBQなど） ・他事業所との合同レク開催。（小規模体育館などをお借りして、運動系のレク実施など）																					